

第 3 回 富山県地域交通戦略会議の開催結果について

1. 日時 令和 4 年 11 月 17 日（木）15 時 30 分～

2. 出席委員（別紙のとおり）

3. 概要

（1）地域交通戦略の目標について

- ・事務局から目標(案)を説明し、意見交換の結果、次のとおり会議として了承した

＜目標 1＞県民一人当たりの地域交通利用回数

- ・地域交通サービスの最適化を通じた県民の利用機会の増加を目指す
- ・目標値は、県民一人当たりの年間利用回数 50.0 回

＜目標 2＞ガソリン車の台数

- ・カーボンニュートラルを推進するため、地域交通の利用を促進し、ガソリン車の台数の削減を目指す
- ・目標値は、今年度策定する県カーボンニュートラル戦略と整合を図り設定

＜目標 3＞地域交通への満足度

- ・県政世論調査を通じて県民の満足度を把握し、ウェルビーイングの向上を目指す ※調査項目は今後検討

（2）富山大学における出前講座の開催について報告

（3）鉄軌道サービス部会、交通ワナチーム部会の開催結果を報告

（4）意見交換（主なもの）

- ・目標の 50 回は県民にわかりやすく、測定可能で、野心的かつ現実的な数値
- ・50 回は県民誰にも覚えやすく、楽しく達成できるような施策を期待
- ・利用回数は利便性向上のステージアップが前提として示された目標と理解
- ・地域交通への満足度を測る調査項目を決めていくにあたっては、多くの県民を巻き込んでいくプロセスが大事
- ・公共交通を利用しない人の満足度をどう把握していくかが大切
- ・出前講座を今後も幅広く実施し、マスメディアにも取り上げてもらうことで、計画に対する県民の機運が高まればよい
- ・最適な地域交通サービスの実現には、まちづくりの観点や個別施策に加え、住民の意識改革といった観点も必要であり、出前講座は有効
- ・地方鉄道は厳しい経営状況にあり、国への一層の支援の働きかけも必要だが、地元

(別紙)

第3回 富山県地域交通戦略会議 出席委員

(敬称略)

所属・役職	氏名	備考
東洋大学 名誉教授	石井 晴夫	会長
富山国際大学 名誉教授	長尾 治明	
関西大学経済学部 教授	宇都宮 浄人	
富山大学都市デザイン学部 教授	本田 豊	
トヨタモビリティ富山(株) 代表取締役社長	品川 祐一郎	
(株)博報堂第二MDコンサルティング局 局長代理	畠山 洋平	
モビリティジャーナリスト	楠田 悦子	
富山県交通運輸産業労働組合協議会 議長	石橋 剛	
富山県高等学校PTA連合会 会長	松山 朋朗	
(公財)富山県老人クラブ連合会 会長	麻島 裕之	
西日本旅客鉄道(株)金沢支社 地域共生室企画課 交通企画室長	鹿野 剛史	
あいの風とやま鉄道(株) 代表取締役社長	日吉 敏幸	
富山地方鉄道(株) 専務取締役	新庄 一洋	
万葉線(株) 代表取締役専務	楠 達男	
加越能バス(株) 自動車部長	清水 浩二	
(公社)富山県バス協会 専務理事	小竹 典吉	
富山県タクシー協会 専務理事	清澤 新一	
国土交通省 北陸信越運輸局 交通政策部 部次長	白砂 千佳	代理： 玉巻交通企画課長
国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所 調査第二課長	高田 英和	
富山県土木部道路課 参事・課長	二木 勸	代理：埜村主幹
富山県警察本部交通部交通規制課 課長	関口 健次	
富山市 副市長	美濃部 雄人	
高岡市 副市長	河村 幹治	
富山県 副知事	蔵堀 祐一	